

～今月の花木～



イチゴノキ

ツツジ科・常緑小高木・地中海沿岸原産

晩秋にアセビに似た壺型の花をつける。名の由来は赤く熟した実をつけることから「イチゴ」の名がついたとされるが、実際の実はやまももの実に似ている。

造園・土木業界の、用語、道具など

世の中には実に様々な産業がありますが、自分の仕事や興味のある業界以外のことは、わからない事が多い気がいたします。私どものような造園や土木に関わる仕事にも、この業界の仕組みや業界特有なものや言い方など、この業界の人以外には、わかりづらい事や人によって異なる言い回しなどが多数あると思われます。

この業界の簡単な概要と特徴的な一部のものの言い方などについて、紹介いたします。

◆業界について◆

弊社のような造園工事や土木工事を生業とする業界は、大まかな職種の種類上、「建設業界」の一部になります。建設業は大きく分けて「土木工事業」と「建築工事業」の2つに分けられ、その仕事の内容は大きく異なります。

「土木工事業」：道路や橋などの新設や維持補修、上下水道の整備など社会基盤整備を主として行うことが多く、公共工事が多い傾向があります。民間の宅地造成工事などの仕事もあります。造園工事はどちらかといえば、こちらのカテゴリーに入ります。

「建築工事業」：マンションや住宅、工場や病院など、土木工事により整備された基盤の上に建物を新設したり改修したりする工事であり、民間の発注が大部分です。建設業の仕事は、基本的に工種(業種)別に細かく分かれており、建設業法では29種類に分類されています。造園工事には「造園工事業」、土木工事には「土木工事業」の建設業許可が一部の例外を除き必要です。

造園の仕事の場合、工事以外にも、樹木の剪定や草刈りなど、維持管理作業が多くあり、これらの作業は建設工事とは基本的に別のものでされます。また、造園工事と土木工事は共通する材料・工法などが多くあり、地面に手を加えるなど共通点の多い業種です。

◆用語や道具など◆

どのような業界にも行為や設備、道具などについて、専門用語や業界用語があり、それらを列記するだけで一冊の本が出来てしまいます。

また、同じ言い方でも意味やものの異なることもあり、お互いに共通認識がなければ意味を取り違えたりする可能性もあるため、依頼したり、されたりした事やものについて、理解が不十分だったり、間違えたりしそうなときは、違う言い方など加えて念押しや補足するのが大切です。

「ネコ、とつてきて」

造園・土木など建設業界の人が仕事であれば、ほぼ全員が土砂等を運搬する一輪車を持ってくると思いますが、一輪車の別名であることを知らない方には、「猫、捕まえてくるの?」と思われるかも知れません。

「ネコ」の場合、同音異義語による業界用語の一例です。余談ですが、日本語で一番多い同音異義語は「こうしよう」で、交渉、工商、考証など48種類もあるそうです。

造園や土木の業界用語やものには同音異義語の他にも、人によって呼び方の違うもの、似ているが用途の異なるものなどがあり、そのような例を以下の記事にて紹介いたします。正式名称ではない現場用語・俗語も多いですが、言葉の響きから意味を感じることが出来るものもあります。

うま

植木などを運搬するときや何か作業をする際に、植木などの下にかませる台のこと。右の写真では、スコップを「うま」にして、植付け前の樹木の剪定をしている様子。三角形のフレームと横棒など組み合わせた製品もある。



ねこ

土砂やコンクリートを運搬するための小型鋼製の一輪車または二輪車のこと。猫車ともいう。名の由来は猫のように狭いところに入りやすい、動かすと車輪がゴロゴロ音がするなど諸説ある。(猫を運ぶものではない)



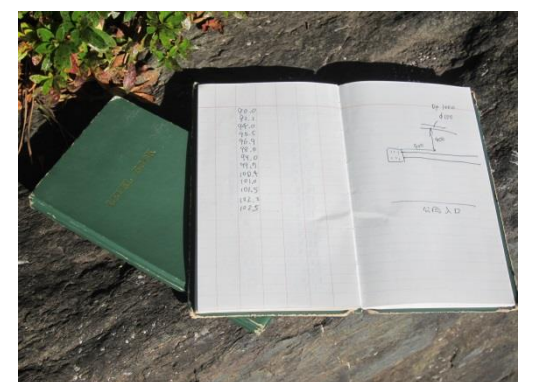
あさがお

土木よりは建築工事の現場で時折みられる、構造物を施工するとき、材料などの落下を防ぐため、足場から斜め上方に突出したひさし状の防護棚のこと。朝顔の花のように上向きに開いているのが、名の由来のようである。



やちょう

測量や調査結果を現場で記録するために用いる胸ポケットに入る位の小型の手帳のこと。携帯性と耐久性が求められるため、表紙には厚く硬い紙が使用されていることが多い。漢字で書くと「野帳」であり、「野鳥」とは関係ない。



人によって、言い方の異なるもの

どちらの言い方も同じ意味で使用していますが、言う人によって言い方が異なり、片方の言い方しか分からない場合、話が通じにくい場合があるため、相手によって注意が必要です。



ラフター = レッカー

一つの運転席で走行とクレーン操作が行える自走式クレーンを「ラフテークレーン」とか「ラフタークレーン」といい、略して「ラフター」という人がいます。

また、同じクレーン車のことを「レッカー」という人もいますが、どうも車両をけん引するレッカー車を想像してしまいます。



バックホウ = ユンボ

ショベル系掘削機のうち、アームに取り付けたバケットを手前に引き、主として機械より下方の掘削に適した機材の事をいいます。

「ユンボ」とは、元はフランスの油圧系建設ショベル機械の商品名から来ているようです。

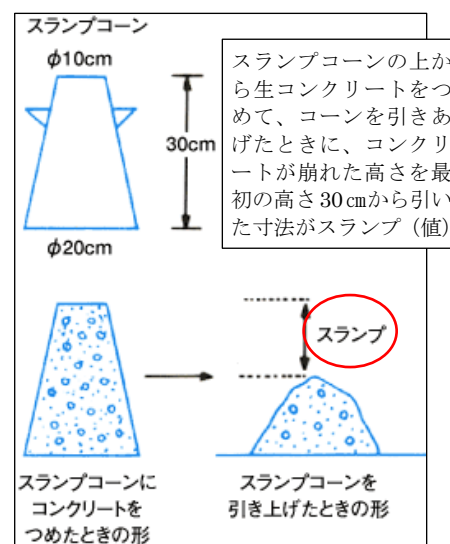
世間一般の認識とは、異なるもの

《スランプ》

【世間】心身の調子が一時的に悪く、今まで出来ていたことが出来なくなるなど、調子が下がっていること。

【土木】生コンクリートの軟らかさの度合を示す数値。スランプ試験をしたときにおけるコンクリートの下がり量をcmで表示する値のこと。スランプ値ともいう。数値が大きいほど柔らかいコンクリートとなり施工性は上がるが、水分量が多く強度は下がる傾向がある。

スランプ試験のイメージ



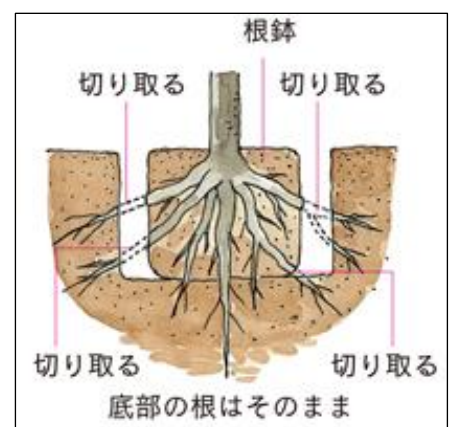
《根回し》

【世間】交渉事などを円滑に進めるため、事前に関係方面と非公式の場で話しあうこと。

【造園】大木や老木、長い間移植や根切りをしていない樹木の移植(植替え)をするにあたり、その後の樹木の活着をよくするため、移植の半年から1年位前に根鉢の周囲を掘り下げ、出てきた太根の皮を剥いだり、切断したりして後、土を埋め戻して細根の発達を促すこと。

※何か物事を上手く進めるのには、見えないところでの事前の努力が大切という事だろうか…

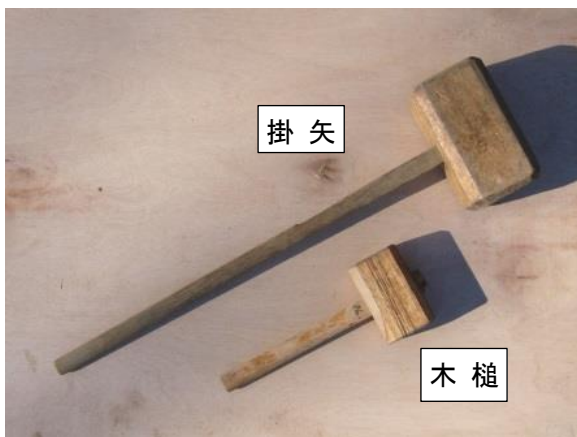
根回しのイメージ



似ているけれど、用途の異なるもの

造園や土木で使用する道具の中から、何となく似ているものを並べてみました。写真と説明文を見比べて、ご覧ください。

杭を打ち込む、竹垣や支柱を作る、ものを叩く



掛矢 (かけや)

檜などの硬い木材で作られた大型の木槌で、杭や支柱の丸太などを地中に打ち込むときに用いる。全長が1m程度で重量もあるため、両手で持ちあげ、振り下ろす。

木槌 (きづち)

檜や樺などの堅木でつくられた小型の槌であり、通常は片手で使用する。あまり力が必要としない杭や支柱の打込み、コンクリート工事の際に型枠を叩くことや移植のときの根巻き作業の際に根鉢を叩き締める際にも使われる。

穴を掘る、すくい取る、根を切る



角スコップ

先が平らになっており、土砂等のすくいとりやモルタル等の練り込みに使う。

剣スコップ

先がとがっていて、主に穴を掘るのに使う掘削用スコップである。

エンピ

主に植木を掘り取る移植などの際に用いるスコップの一種である。ヘラ部分には反りがあり、先端がややとがっており、刃先は研いで鋭利にして使う。根を切断するのに適した道具で簡単な根回しにも使用する。

掻き寄せる、掻き集める、敷き均す



ジョレン (鋤簾)

土砂やコンクリートなどを掻き寄せたり、敷き均したりする用具で、柄を両手で持ち、手前に引き寄せるようにして使う。

レーキ

短い鉄の刃が櫛状に並んだ農機具である。草掻きや整地のほか、小石やごみを掻き集める際にも使う。竹製ものは熊手という。

トンボ

地面やグラウンドの整地、アスファルトの敷き均しや、土間コンクリート作業などに使用する。木製やアルミ製など種類が多い。